

## 様式2

### 令和元年度 第2回安曇野市国民健康保険運営協議会 会議概要

- |   |           |                                                                                           |
|---|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 審議会名      | 安曇野市国民健康保険運営協議会                                                                           |
| 2 | 日時        | 令和2年2月4日 午後1時30分から午後2時15分まで                                                               |
| 3 | 会場        | 市役所本庁舎 3階 全員協議会室                                                                          |
| 4 | 出席者       | 古澤委員・有賀委員・東本委員・一志委員・三沢委員・中村委員・中野委員<br>古川委員・山本委員・藤松委員・布山委員・徳武委員・高橋委員・宮下委員<br>中島委員(欠席 丸山委員) |
| 5 | 市側出席者     | 高橋部長・小林課長・森田係長・保科係長・飯田係長・丸山主査                                                             |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開                                                                                        |
| 7 | 傍聴人       | 1人 記者 1人                                                                                  |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和2年2月5日                                                                                  |

### 協 議 事 項 等

#### 会議の概要

1. 開会 (小林課長)
2. 保健医療部長あいさつ (高橋部長)
3. 自己紹介
4. 国民健康保険運営協議会について
5. 正副会長の選出  
委員の互選により、藤松会長、布山副会長を選出
6. 正副会長あいさつ
7. 協議事項
  - (1) 議事録署名人の氏名 (古澤委員・中村委員)
  - (2) 協議事項  
「令和2年度安曇野市国民健康保険特別会計予算(案)について」  
(事務局より説明)
    1. 国民健康保険税の状況  
平成26年度から減少傾向であったが、令和元年度は税制改正の影響で増加に転じている。
    2. 医療諸費の状況  
平成28年度から減少傾向、令和元年度は約4%の減を見込んでいる。
    3. 国保事業費納付金の状況  
令和2年度は前年比約3.8億円のマイナスとなった。
    4. 特定健診事業の状況  
受診者が増加している。
    5. 国保運営状況の現状と見通し  
基金残高は令和2年度末で約4.5億円の見込み。**【委員からの質問、意見】**  
特段なく了承される。
  - (3) その他  
(委員) 第三者求償の現状と問題点について教えてほしい。  
(事務局) 次回の運営協議会に資料を提供します。
8. 閉会 (藤松会長)

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

# 安曇野市国民健康保険運営協議会会議次第

令和元年2月4日午後1時30分～  
安曇野市役所3階 全員協議会室

1 開 会

2 保健医療部長あいさつ

3 自己紹介

4 国民健康保険運営協議会について

5 正・副会長の選出

6 正・副会長あいさつ

7 協 議

(1) 会議録署名人の指名

.....

(2) 協議事項

令和2年度安曇野市国民健康保険特別会計予算（案）について

「資料1」p1 ～

(3) その他

8 閉 会

# 会 議 資 料

令和2年2月4日(火)

安曇野市国民健康保険運営協議会

# 目 次

## 協議事項について

- 1 令和2年度安曇野市国民健康保険特別会計予算（案）について  
【資料1】…………… 1

## 令和 2 年度安曇野市国民健康保険特別会計予算（案）について

令和 2 年度安曇野市国民健康保険特別会計予算編成における国民健康保険事業の  
現況と今後の見通し（概要）

### ○安曇野市国民健康保険の現況

国民健康保険に加入している被保険者数は、令和元年 12 月末現在で 21,015 人であり、前年同時期（平成 30 年 12 月末 21,782 人）と比較して 767 人減少しています。被保険者数の減少理由としては、後期高齢者医療制度への移行が主なものであり、その人数は平均月 100 人程度です。また、前期高齢者と呼ばれる 65 歳以上 75 歳未満の区分は、令和元年 12 月末現在で 10,349 人であり、前年同時期（平成 30 年 12 月末は、10,744 人）と比較して、395 人減、加入率は 49.2%です。前年同時期と比較して 0.1 ポイント減少しており、被保険者の高齢化に歯止めがかかったといえます。また、前期高齢者の医療費支出の割合は、63.2%（11 月診療分）と非常に高い割合を示しており、国保財政を圧迫する要因の一つとなっています。

被保険者数が減少している一方で、一人当たり医療費は、平成 30 年度に 2.0%の伸びとなっており、医療の高度化や新薬等による高額な医療費の増加が理由と考えられます。保険給付費は 6,973,300 千円、県に納付する国保事業費納付金は 2,471,322 千円の予算計上を行いました。（予算総額は、以下のとおり）

令和 2 年度予算額（案）	9 8 億 1, 5 2 8 万 3 千円
前年度当初予算額	1 0 5 億 0, 7 5 2 万 6 千円
対前年度比	6 億 9, 2 2 4 万 3 千円減（93.41%）

### 1. 国民健康保険税の状況

（単位：千円）

年 度	一般被保険者			退職被保険者等			全体		
	収入額	増減額	前年比	収入額	増減額	前年比	収入額	増減額	前年比
26	2,044,743	-66,488	96.9%	193,633	-32,181	85.7%	2,238,376	-98,669	95.8%
27	2,009,751	-34,992	98.3%	138,057	-55,576	71.3%	2,147,808	-90,568	96.0%
28	1,990,393	-19,358	99.0%	96,919	-41,138	70.2%	2,087,312	-60,496	97.2%
29	1,983,052	-7,341	99.6%	42,825	-54,094	44.2%	2,025,877	-61,435	97.1%
30	1,953,447	-29,605	98.5%	17,483	-25,342	40.8%	1,970,930	-54,947	97.3%
元	1,985,700	32,253	101.7%	1,950	-15,533	11.2%	1,987,650	16,720	100.8%
2	1,964,700	-21,000	98.9%	313	-1,637	16.1%	1,965,013	-22,637	98.9%

（平成 30 年度までの数値は各年度の決算値、令和元年度は見込、令和 2 年度は予算ベース。

以降の各表も同様です。）

被保険者数が減少し保険税調定額が減ってきているため、保険税の収納率は向上しても実際の保険税収入額は減少しています。

退職被保険者等に係る保険税収入は、制度改正による被保険者数の減少により大幅に保険税調定額が減っていることから、保険税収入額も減少しています。

## 2. 医療諸費の状況

・療養給付費・療養費・高額療養費(介護合算含む)の状況

(単位:千円)

年度	一般被保険者			退職被保険者等			全体		
	支出額	増減額	前年比	支出額	増減額	前年比	支出額	増減額	前年比
26	6,753,239	474,548	107.6%	502,730	-147,311	77.3%	7,255,969	327,237	104.7%
27	6,912,700	159,461	102.4%	408,941	-93,789	81.3%	7,321,641	65,672	100.9%
28	6,925,281	12,581	100.2%	264,448	-144,493	64.7%	7,189,729	-131,912	98.2%
29	6,989,126	63,845	100.9%	125,410	-139,038	47.4%	7,114,536	-75,193	99.0%
30	7,059,318	70,192	101.0%	47,290	-78,120	37.7%	7,106,608	-7,928	99.9%
元	6,806,523	-252,795	96.4%	8,658	-38,632	18.3%	6,815,181	-291,427	95.9%
2	6,970,150	163,627	102.4%	3,150	-5,508	36.4%	6,973,300	158,119	102.3%

<被保険者一人当たりの医療費状況>

(単位:円)

年度	一般被保険者			退職被保険者等			全体		
	医療費	増減額	前年比	医療費	増減額	前年比	医療費	増減額	前年比
26	346,022	22,352	106.9%	345,994	-37,870	90.1%	346,020	17,452	105.3%
27	357,396	11,374	103.3%	366,503	20,509	105.9%	357,904	11,884	103.4%
28	363,475	6,079	101.7%	377,155	10,652	102.9%	363,970	6,066	101.7%
29	373,654	10,179	102.8%	346,744	-30,411	91.9%	373,122	9,152	102.5%
30	380,839	7,185	101.9%	357,613	10,869	103.1%	380,675	7,553	102.0%

## 3. 国保事業費納付金の状況

(単位:千円)

年度	医療分			後期高齢者支援金分			介護分	合計
	一般分	退職分	小計	一般分	退職分	小計	一般分	
30	1,863,454	7,821	1,871,275	580,927	2,434	583,361	191,204	2,645,840
元	1,988,451	1,670	1,990,121	642,451	546	642,997	224,135	2,857,253
2	1,652,015	200	1,652,215	597,475	70	597,545	221,562	2,471,322

※予算上の金額のため、端数処理で納付総額と差があります。

#### 4. 特定健診事業の状況

特定健診事業を推進することにより、被保険者の健康状態を把握し、さらに健康推進課と連携して被保険者に特定保健指導を行うことにより、医療費の削減を図っています。

- ・受診率の推移 H20 : 27.3%、H21 : 30.1%、H22 : 31.5%、H23 : 36.4%  
H24 : 36.6%、H25 : 38.0%、H26 : 41.5%、H27 : 42.4%  
H28 : 47.0%、H29 : 48.2% H30 : 48.2% R元 : 50.0% (見込)  
R02 : 54.0% (目標値)

- ・受診者数の推移

(単位：人)

年度	集団健診	個別健診	通院治療者	人間ドック	合計
26	3,695	520	1,686	1,948	7,849
27	3,704	429	1,648	2,126	7,907
28	3,512	708	1,986	2,289	8,495
29	3,417	681	2,059	2,383	8,540
30	2,898	1,105	1,587	2,554	8,144
元	3,730	1,530	1,700	3,290	10,250
2	3,150	1,730	1,700	3,616	10,196

※通院治療者は、健診結果データ持込み分も含む。

- ・人間ドック、脳ドック受診者の推移

(単位：人) (単位：千円)

年度	人間ドック	オプション 脳ドック	特兼 脳ドック	その他 脳ドック	合計	支出額
26	1,895	403	53	36	2,387	53,121
27	2,094	438	32	24	2,588	58,556
28	2,246	469	43	29	2,787	62,955
29	2,346	505	37	23	2,911	66,217
30	2,518	560	36	30	3,144	70,539
元	3,230	700	60	40	4,030	90,700
2	3,550	770	66	40	4,426	99,620

(助成額)

1日人間ドック：25,000円、1泊2日人間ドック：30,000円、オプション脳ドック：10,000円  
特兼脳ドック：20,000円、その他脳ドック：15,000円

(※ 特兼脳ドックとは、特定健診の検査項目を含む脳ドックをいう。)

※ 上記2表の受診者数は、令和元年及び2年度は予算ベースです。

・令和元年度の取り組み

個別健診の期間を早め、期間を延長したことにより、個別健診受診者が増えました。

また、昨年に引き続き、9月7、8日の2日間、親子など若年者が集う市主催のイベントである「図書館フェスタ」に「健康イベント」のブースを設け、多くの市民に健康意識の向上と健診のPRが出来ました。

未受診者対策としては、集団健診終了後、集団健診の申込みをしたが受診していない者、申込みをしていない40から50歳の者に「個別健診のご案内」送付した他、過去3年内でまだ受診者に対し、個別データを参考として今年度の受診を促しました。

平成30年度から始まった健康ポイント事業では、特定健診を受診して500ポイント貯まった人にポイント券を送付しました。保健センターで実施する健診と市内の直売所のお買い物の割引券としてご利用いただきました。3,626枚配布し、2316枚利用がありました。

5. 国保運営状況の現状と見通し

・令和元年度の状況

医療費諸費の対前年比率は、平成28年度以降減少傾向にあります。今後、冬季期間は流行性疾患等による通院が危惧される時期でもあり、その医療状況による医療費支払はこれからとなり不透明な部分もありますが、大勢としては今年度の医療費諸費支出は4%程度のマイナスを見込んでいます。

・令和2年度の見込み

今年度は昨年度と比べて、県に支払う国保事業費納付金が約3億8千万円の減額となったため、基金の取崩しは4千5百万円に留まりました。

このことから、令和2年度末の基金残高は約4億5千万円と見込んでいます。

保険者努力支援制度では、41,496千円が交付される見込みです。

・基金の現状及び今後の見込み (単位：千円)

年度	繰越金	積立て	取崩し	年度末残高
25	376,567	323,066	350,000	987,795
26	296,324	153,488	350,000	791,283
27	404,848	205,319	300,000	696,602
28	394,469	191,809	250,000	638,411
29	477,391	211,860	0	850,271
30	293,933	82,002	150,000	782,272
元	92,752	48,475	340,000	490,748
2	4,000	3,359	45,000	449,107

(端数処理の関係で年度末残高が計算値と一致しない年度があります。)